



武庫の宝

令和8年 7月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

感激したこと

今回、6月の1か月間でどうしても保護者・地域の皆様にお伝えしたい子どもたちの日常の姿、言葉から「感激したこと」を3つご紹介します！

1：「廊下が汚れているのが気になる。みんなで掃除をしたい」という一人の男の子の声をきっかけに、学級会で話し合い、クラス全員で2・3階の中央廊下を磨いてくれたクラスがありました。わたしは教師人生でそんな学級活動を見たことがありません。そしてその事実を教えてくれたのは別のクラスの子どもたち。自分たちのことのようにうれしそうに伝えてくれたのです。

2：「校長先生、わたしたちのクラスの授業を見に来てください」と誘ってくれる子たちがいました。参観をしてわかりました。「わたし」を見てほしいじゃない、「わたしたち」を見てほしい。自分が発表するとかしないじゃなく、自分たちの学ぶその雰囲気誇りに思っているのでしょう。

この、「1」と「2」。どちらもわたしは伝えてもらわなければ出会えなかった感動です。まさに「価値発見」をしてくれた子どもたちに、「幸せ」をもらった気分です。

ですから、最後の3つ目のエピソード。みなさんにも幸せの連鎖をお届けしますね。

朝の校門で、その日は朝からしっかりと雨が降っていました。毎朝校門より先に立っていただいている見守り隊の方も傘をさして登校してくる子どもたちにいつものように笑顔であいさつをしてくださっていました。もうほとんどの子どもたちが登校を終えた頃です。いつもよりさらに満面の笑顔でこんな素敵なあいさつをしてくれた子がいると、わたしに伝えてくれたんです。その子はこう言いました。「おはようございます。雨の中、ありがとうございます。」って！こんなふたことあいさつ、小学生が言えるなんて…わたしはその話を聞いて思わず大きな声で「すごいなあ〜!!!」と叫んでしまいました。わたしたち大人は言えるでしょうか？同時にわたしはその子はこの言葉をどこで学んだのだろうと思いました。きっと素敵なお手本があったのに違いありません。そんな朝のあいさつが生まれる武庫小学校の子どもたちはすごいと心から思いました。「1」も「2」も同じです。こうして、いろんな素敵な出来事を伝え合う雰囲気は必ず実を結びます。わたしはこの2年で実感しています。確実に価値発見の文化は根付いています。



1学期も残り3週間となりました。まだまだ素敵な価値発見がありそうです！